

平成 22 年度長野県ふるさとの森林づくり賞 受賞者の皆さまの功績

【ふるさとの森林づくり大賞】

受賞者名	岡谷市 花岡区	住所	岡谷市
< 功績事項 >			
<p>いまだ記憶に新しい平成 18 年 7 月の豪雨災害において、花岡区では尊い人命が失われ、家屋が全半壊するなどの甚大な被害が発生しました。被災した森林や溪流は県などの復旧工事により徐々に被災前の状態を取り戻していますが、豊かな緑の回復にはまだまだ時間がかかる状況です。</p> <p>この災害を教訓に、区では防災体制の見直し等を進めるほか、災害の発生原因の一つである森林の荒廃に着目し、「災害に強い森林づくり」に取り組むための体制づくりに重点を置き、区民にできることについて議論・検討を重ねた結果、「みんなの森林づくり事業計画」の策定、「西山を見る区民の集い」、「みんなの森林づくり植樹祭」、植樹後の森林保育作業、各種説明会など、区民が地域の森林の現状を理解し、森林整備に主体的に関わるための取組を継続的に実施しています。</p> <p>また、間伐を進めるための第一歩としてのGISやGPSを導入した森林境界の確認作業、長野滋賀県人会との「森林(もり)の里親促進事業」など、幅広い活動に積極的に取り組んでいます。</p> <p>さらに、以上のように様々な先進的な取組について、幾多の災害復旧状況視察を全国から受け入れ、講演に招かれるなど、機会あるごとに災害に強い森林づくりの重要性、災害時の地区住民の行動の在り方等について、全国に向けて情報発信を続けています。</p>			

【森林づくり推進の部】

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	千葉 彬司	住所	大町市
< 功績事項 >			
<p>市立大町山岳博物館において、長年にわたり県獣であるカモシカ(特別天然記念物)の調査・研究に従事され大きな功績を残されているほか、北アルプスや富士山における県鳥のライチョウ(特別天然記念物)の調査・研究等による保護管理に関しても大きな功績を残されており、これまでに皇室関係者に対して動物に関する知見などのご進講、ご案内等も行っておられます。</p> <p>また、「特定鳥獣保護管理計画」の策定及び評価のための検討委員会、カモシカ部会等の委員として、平成 12 年の制度創設以来約 10 年間にわたり、カモシカ、ニホンジカ、ツキノワグマ、ニホンザル、イノシシの保護管理計画の策定のためにご尽力をいただきました。</p> <p>また、野生鳥獣の調査・研究に従事した経験をもとに、農林業被害対策への幅広い指導・助言や、研修会・講演会などを通じた生物多様性の保全に配慮した豊かな森林づくり、人と野生鳥獣との緊張感ある棲み分けによる豊かな地域づくりの啓発等に大きく寄与されています。</p>			

賞 名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	稲邊 謙次郎	住所	伊那市
<功績事項>			
<p>高遠城跡の桜守として活躍する傍ら、「森だくさんの会」と「高遠森林クラブの会長」として、地域の森林整備のボランティアでの実施や、里山の利活用、地元の小中学生への森林教育活動等を積極的に行い、地域に密着した活動を展開されています。</p> <p>また、稲邊氏が活動を行う伊那市ますみヶ丘平地林では6つの団体が活動していましたが、平成20年に横の連携を図ることを目的に各団体をまとめ、「NPO法人伊那谷森と人を結ぶ協議会」を設立し、自らが代表理事として、都市部の子供たちを対象とした森林教室の指導、市民の森イベントの企画運営を行うなど、地域の指導者として森林と人をつなぐ中心的な存在となっています。</p>			

賞 名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	広津自治会	住所	北安曇郡池田町
<功績事項>			
<p>地域の農林業や観光業等を通して地域を活性化するために「広津元気だせ委員会」を立ち上げ、森林整備を促進するための組織づくりや、キノコ、山菜、木炭等の特産物による地域おこしの検討を行った結果、「広津地区森林整備協議会」を設立して地域内の森林の集約化を進め、これまでに森林所有者から250ヘクタールもの大面積の施業同意を得るなど、積極的に森林整備を推進しています。</p> <p>また、平成20年度に契約された東海ゴム株式会社と池田町の「森林(もり)の里親促進事業」へ自治会として参画し、森林作業体験等を通して社員と積極的に交流を重ね、現在では住民と社員の間に個人的なつながりも形成されており、地域住民にも張り合いと活気が生まれています。</p>			

賞 名	長野県森林組合連合会長賞		
受賞者名	半過自治会	住所	上田市
<功績事項>			
<p>当地区では、造林・治山事業等を活用した森林整備、特に松くい虫被害対策については行政と一体となって注力してきましたが、諏訪・岡谷地域の災害を教訓に、地域の森林を防災の視点で再点検するため「半過治山委員会」を組織し、より機動的な森林整備の推進体として、間伐や治山事業計画の推進、地権者との交渉、災害時の被害情報把握等に積極的に取り組んでいます。</p> <p>また、植樹などにも取り組み、これらの取組の成果を「上田道と川の駅」で行われたイベントで広報するなどの普及啓発活動や、獣害対策としてのニホンジカの食肉利用にも積極的に取り組み、試食会への提供や道の駅の食堂メニューに定着させるための商品化へ向けた検討も進めています。</p>			

賞 名	長野県林業改良普及協会長賞		
受賞者名	特定非営利活動法人 信州そまびとクラブ	住所	佐久市
<功績事項>			
<p>自らが林業事業体として森林整備に関わっているほか、市民の森林・林業への理解を深めるために、森林整備作業の指導協力、「おおさわ山守塾」の開催、森林体験教室への指導協力等を行っています。</p> <p>林業従事者やボランティア団体との協働の取組としては、企業ボランティアへの支援、養護施設への木製のテーブル等の設置、都市部のフォーラムへの参加等を行っており、特に都市部の若者に森林整備参加を呼びかけた「森ギャル」の取組は全国放送に取り上げられるなど注目されています。</p> <p>これに加え、イベントへの出展、森林教育用の展示物の提供、登山ガイド、森林セラピー入門講座の開催など、幅広い活動は地域に新風を吹き込んでいます。</p>			

賞 名	長野県林業経営者協会長賞		
受賞者名	菅沢 廣人	住所	大町市
<功績事項>			
<p>苗木生産出荷額が減少する中で、国有林で多く使われる中規格苗木、大規格でもコンパクトな根系で植えやすい苗木、少量多品種の苗木の生産を行うなど、経営の合理化に取り組んでおり、平成 22 年度は約 36 千本の苗木を生産されています。</p> <p>苗木生産では連作障害防止や地力回復のため、耕作後 2 年間はソバ等への転作や緑肥の実施、丁寧な害虫駆除を行う等、省力化かつ適正な保護管理に努め、さらにマイクロカッティングやコンテナ苗木生産など、新しい種苗技術にも取り組んでいます。</p> <p>また、地域唯一の苗木生産者として後継者育成や、継続した種苗生産体制確保に努められています。</p>			

賞 名	長野県山林種苗協同組合理事長賞		
受賞者名	古畑 一巳	住所	東筑摩郡山形村
<功績事項>			
<p>長野県の苗木生産の約 9 割を占める松本地区（山形村・旧波田町地区）において、昭和 35 年から種苗生産を始め、現在も約 150 千本の苗木を生産されています。</p> <p>近年は、多様なニーズに対応するため、ヒノキ、カラマツなどの針葉樹だけでなく、コナラ、ミズナラ、ケヤキ等をはじめとする広葉樹の生産にも取り組まれており、地域での生産樹種の選定、生産技術の開発に努められ、地域の産地化を確立されました。</p> <p>また苗木生産者が減少している中、地域のリーダーとして生産者を取りまとめ、地域の高い苗木生産技術を支えています。</p>			

賞 名	長野県山林種苗協同組合理事長賞		
受賞者名	笹岡 洋一	住所	下高井郡野沢温泉村
<功績事項>			
<p>地域の気象条件等を的確に把握した優良な山林用種苗生産に携わり、特に野沢温泉地域のスギを守り育て、苗木生産の振興、生産技術の向上、後継者育成等に努められました。</p> <p>また、県が委嘱する指導林家、そして県が業務を委託する「林業用種子採取事業」の現場代理人として、県内の林業者等に対する各種苗づくりの指導、緑化推進、種子の安定供給等にご尽力をいただきました。</p> <p>加えて、平成 20 年の 6 月から 2 年間、「みんなで支える森林づくり北信地域会議」の委員として、地域の健全な森林づくりにも多くの助言をいただいています。</p>			

賞 名	長野県猟友会長賞		
受賞者名	小林 光良	住所	上水内郡小川村
<功績事項>			
<p>昭和 41 年から現在まで長年にわたりキジやヤマドリの養殖業を営み、県内の養殖業者が減少する中で現在も年間約 1,300 羽の出荷を行い、日々研究・改善に努力されています。</p> <p>県内のみならず山梨県や新潟県などの県外へも出荷を行い、キジ・ヤマドリの放鳥や、各種森林関係の祭典用に活用され、自然保護、動物保護に貢献されています。</p> <p>また、約 60 年の経験を持つ現役のハンターでもあり、自らも地域の有害鳥獣駆除活動に率先して参加するとともに、豊富な経験と知識を生かして若い猟友会員の指導を行うなど、リーダーとして地域の猟友会員の模範となっています。</p>			

【森林環境教育推進の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	J X 日鉱日石エネルギー株式会社	住所	東京都千代田区
<功績事項>			
<p>地球環境保全活動の一環として、CO₂ 吸収源としての森林づくり等に取り組んでおり、平成 17 年から原村と「森林(もり)の里親促進事業」を締結して、現在も継続して事業を実施しています。</p> <p>この活動の中で、原小学校の子供たちに森林の大切さを伝えるため、苗木の提供、下刈作業の実施、子供たちが書いた絵で学校林の看板を製作して寄付をする等、積極的な支援を行っています。</p> <p>また、2 日間の日程で年 3 回の森林整備を実施し、東京、愛知、埼玉、茨城県等から社員やその家族がボランティアとして参加し、現在までに延べ 900 人以上の方々が原村を訪れ、春には広葉樹の植栽や補植作業、夏には過酷な炎天下で下刈作業、秋には枝打ち、間伐作業等を実施するほか、地域住民、林業関係団体等との交流を深めることで、地域に活力を与えています。</p> <p>さらに、国産の間伐材を製紙原料に利用する「3.9 ペーパー」の仕組みにより、村有林の間伐材の輸送費を支援し、絵本「童話の花束」にこの用紙を利用するなど森林づくりの循環に貢献されています。</p>			

賞名	長野県教育委員会賞		
受賞者名	若林 正廣	住所	上田市
<功績事項>			
<p>原木シイタケの栽培に 50 年の長きにわたり携わり、「上小きのこ倶楽部」の会長として上小地域のシイタケ栽培の中心的役割を担い、平成 7 年からは長野県の指導林家（特用林産）として林業後継者の育成指導にあたり、地域の特用林産の振興にご尽力されています。</p> <p>また、昭和 55 年から約 30 年にわたり、地域の小中学校に森の恵みや働きを伝えるためシイタケの植菌指導を行っており、子供達にきのこを育てる喜びや達成感を味わってもらうため、植菌後も月に 1、2 度学校に通いながら、梅雨時や夏休み中の管理等、細かく丁寧に指導を行っています。</p> <p>さらに、5 年程前から、収穫したきのこを使った食育教室をはじめ、子供達の考えたメニューや蒸しただけのきのこを食べさせながら、原木きのこ本来の味を伝えています。</p> <p>このほかにも、NPO 等と協力して年間 200 名以上の小中学生を受け入れ、シイタケ栽培の体験学習を行い、各種イベントにも参加して、きのこの消費拡大にも努められています。</p>			

賞名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	特定非営利活動法人 矢作川源流の森ねば	住所	下伊那郡根羽村
<功績事項>			
<p>平成 19 年度の「地域発元気づくり支援金事業」を活用した間伐材利用の表札づくりが好評を得て、間伐指導をはじめ、木の工作による村内での木育活動が活発となり始め、現在も継続的に表札づくり体験等を実施しています。子供たちには「大人になったらこの表札を根羽スギで建てた家にかけてね」とお願いし、地域材活用推進も含めた森林環境教育の一環としています。</p> <p>このほかに、県内外の小中学生への間伐体験指導、間伐材を利用した緑化推進活動、チェーンソーアートによる県内外の住民との交流、県外のイベントでの普及啓発・デモンストレーションなど、幅広い活動を展開しています。</p>			

【信州の木利用推進の部】

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	川上村（川上中学校の建設）	住所	南佐久郡川上村
<功績事項>			
<p>川上村は、夏の冷涼な気候に適応したカラマツ造林が古くから盛んで、郷土の誇りであるカラマツを使用した施設建設を切望する声が多い中、川上中学校の建替えにあたっては、先人達の残した村産のカラマツを学校に形を変えて残し、生徒達にかつてのカラマツ林業王国としての歴史や森林資源の重要性を学ばせ、体験させる教材として当該施設を位置付けることとなりました。</p> <p>平成 18 年から検討・建設を開始した中学校新築にあたっては、村有林から伐採したカラマツ材を、建物の構造材、内装材及び外装材にふんだんに使用するほか、生徒・教職員の机・椅子、会議用・ラウンジルーム・図書館のテーブルなど、調度品のありとあらゆるものに使用しました。</p> <p>また、本年施行された「公共建築物木材利用促進法」の先駆事例として県内外からの視察研修の来訪者が絶えず、「品質の確かな地域材を使用した施設」として普及啓発に多大な貢献を果たしているほか、村有林交換プロジェクトによる、大桑村と根羽村との地域間交流も行っています。</p>			

賞 名	長野県木材協同組合連合会理事長賞		
受賞者名	南箕輪村（南原保育園の建設）	住所	上伊那郡南箕輪村
<功績事項>			
<p>南箕輪村は、村内の大芝高原の森林整備と維持管理を長年行っており、地域の施設には大芝高原の木材を使いたいという強い想いがあったことから、平成 21 年度の南原保育園の建設にあたっては、大芝高原で間伐したヒノキとアカマツを建物の柱、梁、桁、板壁等に使用することとしました。</p> <p>村産木材の使用量は建物全体の約 50%を占め、保育園内に入ると木の香りが漂い、木のぬくもりを感じる保育園として多くの方に親しまれているほか、木質ペレットを燃料にしたボイラーを導入して保育園内の給湯及び床暖房に使用しており、地域材と木質エネルギーの利用推進といった観点から、村内外からの視察者も多く、地域材利用のモデル的な施設となっています。</p>			

【長野県森林づくり県民税活用の部】

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	氏乗里山整備組合	住所	下伊那郡喬木村
<功績事項>			
<p>氏乗区は約 70 戸、約 200 人から構成され、人口の減少や高齢化に伴い、耕作放棄地や手遅れ林分の増加が著しい地域です。</p> <p>このため、当区ではいち早く「氏乗里山整備組合」を立ち上げ、長野県森林づくり県民税を活用して「地域で進める里山集約化事業」と「みんなで支える里山整備事業」に取り組んでいます。</p> <p>事業の実施にあたっては、森林組合等に任せきりにするのではなく、地域住民が一体となって自らが集約化、間伐等の施業を実施し、冬期間の雇用確保対策とするなど、将来の地域づくりを見据えた取組を行っています。</p> <p>平成 20 年度からの 5 力年で区の全ての里山を整備する計画の中で、これまでに約 100 ヘクタールの間伐を実行していますが、地域活力の底上げや獣害対策も視野に入れた取組として村内他地区への波及効果も表れており、地域における模範的な取組となっています。</p>			

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	一期会	住所	塩尻市
<功績事項>			
<p>当団体は、平成 15 年度林業体験講座の受講修了者で構成される団体であり、平成 19 年度から施業を放棄している朝日村古見地区の森林所有者から個別に森林施業同意書を徴収し、間伐を主体とする森林整備を進め、里山林の機能回復を図っています。</p> <p>平成 20 年度からは、長野県森林づくり県民税を活用して「地域で進める里山集約化事業」と「みんなで支える里山整備事業」を導入して、これまでに約 65ha の里山整備を推進しており、地域の中核的な森林整備の担い手として注目されています。</p> <p>また、森林税活用事業以外にも、緩衝帯整備及び電気柵設置等の獣害被害対策を重点的に進めているほか、各種公募事業を活用して、公民館と協働した間伐・炭焼き・クラフト体験、間伐材を利用するための拠点施設の整備などに取り組んでおり、地域住民に身近な里山に関心を持たせ、里山整備の重要性について理解を深める普及啓発活動にも幅広く取り組んでいます。</p>			

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	特定非営利活動法人 千曲の森	住所	千曲市
<功績事項>			
<p>当団体は平成 20 年 1 月に設立され、発足した当初から長野県森林づくり県民税を活用して「地域で進める里山集約化事業」により、これまでに手入れの遅れていた千曲市の里山を中心に 500 名を超える森林所有者が所有する森林約 265 ヘクタールを集約化して、間伐の推進に寄与し、その活動は地域住民に大きく評価されています。</p> <p>また、「みんなで支える里山整備事業」による間伐も実施しており、これらの取組を通して、忘れかけていた山への関心が地域住民や森林所有者に浸透しました。</p> <p>また、森林税活用事業以外にも、高校生に対する森林環境教育、地域住民を対象とした森林林業フォーラムの開催、野生鳥獣対策としての里山の竹林整備、みどりの相談窓口の設置等による山林所有者からの技術相談、「森林(もり)の里親促進事業」への参加促進を図るための活動、イベントでの間伐材利用製品の販売など、幅広い活動を展開しています。</p>			